

## 平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

NPO法人どんまい

## 1 事業実施の方針、活動について

- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、精神障がい者の方の社会促進を目指し、当事者の方が安心して自分らしく地域で暮せるように生活の場、相談サポート体制を充実させました。また、施設の老朽化の改善として、どんまいハウス「いずみ」を全面リフォーム。入居者の高齢化への対応、自立に向けた練習も出来る多機能な施設としてどんまいハウス「みなも」を新設しました。松山市のチャレンジ事業も活用しながら、体験外泊等を行い、長期入院の方の退院への促進に努めました。

平成29年度 どんまいハウス実績

(平成30年3月末 現在)

見学者数	新規入居者数	退所者数	入居者数
17名	4名	3名	27名

- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブは、平成29年度の1年間で、見学者数12名、新規登録者数7名、退所者数1名でした。平成29年3月末現在で定員20名、登録者数31名、平成29年度平均通所者数18.4名となっています。

授産事業では、施設外就労先として、新たにレディ薬局様の品出し作業、デイサービスセンターでの清掃作業が今年度から加わり、10棟のマンション清掃業務とともに、利用者の就労意欲や技術・能力の向上をはかっています。また、フェルトや布製品の新品を積極的に開発・販売するとともに、松山障がい者共同受注窓口を活用した自主製品の販売や清掃作業に取り組むことで、利用者のコミュニケーション能力の向上や社会参加、工賃向上につなげることができました。

- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、平成29年3月末現在で定員20名、登録者数32名、平成29年度平均通所者数15.6名となっております。主な授産事業の弁当事業では、地域の方や関係機関への弁当配食、会議・研修・イベントなどの特別弁当、障害者就労施設における弁当・デザートの商品販売（県庁マルシェ）、他事業所への食事提供事業を行っています。口コミでの紹介や営業活動により、1日当たりの配食数が増え、工賃向上や働く意欲の向上につなげることができました。また、利用者から希望の多かったレクリエーションを行い、相互にコミュニケーションをとることによって、連帯感や仲間同士のつながりを深めることができました。

- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、平成30年3月末現在で登録者数26名、平成29年度の平均通所者数は19.8名でした。主な授産事業の印刷事業では、利用者の作業効率や技術向上により製品の質が上がり行政や民間企業などからのリピート数も増え、時給405円の目標工賃を達成しました。

ICT・印刷の共同受注窓口である『えひめICTチャレンジド事業組合(e-ICA)』にも登録し、定例会や研修会に参加し関係機関との連携や情報交換もおこない、新規での受注も増えています。

また、愛媛障害者職業センターやえひめ障がい者就業・生活支援センターとの連携を通し、6名の利用者が施設外での職場実習をおこない就労支援に向けても積極的に取り組みました。

その他にも、忘年会や研修旅行など利用者間での親睦や社会性を図る機会を設け、地域のバザーや花見などにも参加しました。

- ⑤ 指定一般・特定相談支援事業所まいんは平成30年3月末現在、契約数は計画相談(80名)、地域移行相談(4名)、地域定着相談(7名)です。計画相談では、利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等に努め、サービス等利用計画書の作成及び評価を行いました。地域移行については、一人でも多くの方が地域での生活を取り戻せるよう、退院を目指し、29年度は6名の方が退院いたしました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	4月1日 ～3月31日	松山市内	24名	松山市内の精神 障害者34名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	5名	松山市内の精神 障害者34名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	7名	松山市内の精神 障害者36名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	4月1日 ～3月31日	松山市内	6名	松山市内の精神 障害者35名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	4月1日 ～3月31日	松山市内	3名	松山市内の精神 障害者80名
その他、当法人の目的を 達成するための事業	松山市のピアサポート事業チャ レンジ事業等への参加協力、内 外主催の研修会、他事業所との 交流会、勉強会など	4月1日 ～3月31日	松山市内	45名	全職員、実習生

第2号議案 平成29年度NPO法人どんまい活動報告書

月	日	活動	参加者
4月	4日	理事会	
	11日	JKA説明会 大阪出張	
	22日	松山記念春のふれあい祭り	
	24日	職員研修	
5月	9日	法人連絡協議会	
	19日	きらりの森内覧会	松山市ピアサポーター
	20日	第16回NPO法人どんまい社員総会	
	22日	職員研修(虐待防止について)	講師: 部長
	26日	人権教育推進委員会総会	講師: 部長
	30日	B型会計会議	
6月	12日	いずみ近隣挨拶周り	
	14日	松山市保健所・松山記念病院 研修会参加	
	15日	愛媛県集団指導参加	
	17日	愛媛県障がい者地域生活支援協議会 総会・研修会参加	
	20日	人事考課面談	理事長・管理者・職員
	23日	職員研修(統合失調症について)	看護職員
7月	4日	法人連絡協議会	自主研修
	22日	NPO法人どんまい 家族会	
	24日	城西地区意見交換会	ピアマネジャー他
	25日	職員研修(就労・生活支援センター)	講師: 就労・生活支援センター所長
	28日	人権教育推進委員会	
		いずみ改築工事開始	
8月	23日	人権教育委員会部会	管理者3名
	28日	職員研修(防災について)	講師: イワタニ産業
		健康診断	全職員
9月	2日	夕涼み会	81名出席
	8日	実習生受け入れ(保護観察所)	
	12日	法人連絡協議会	
	13日	地域援助事業者等研修交流会(松山記念病院)	9名参加
	19日	松山大学生見学受け入れ	
	25日	職員研修(保護観察制度について)	講師: 保護観察所
	26日	労働基準局実地調査	
10月	16日	いずみ市の立ち入り調査	
	20日	ピア相談養成研修・相談支援専門員等スキルアップ研修	ピアサポーター・ピアマネジャー他
	23日	職員研修(相談・サビ管研修報告について)	講師: 松田・河上
	27日	オープンハウス・いずみ内覧会	
	28日	みなも入札	理事長・理事
11月	5日	みなも地鎮祭	
	6日	いずみ変更届 こだち定員変更届提出	
	18日	いずみ協議記録松山市提出・受理	
	21日	法人連絡協議会	
	30日	いんさつの咲々屋 実地指導	
		人事考課面談	理事長・管理者・職員
12月	1日	NPO法人どんまい忘年会	
	14日	どんまいクラブ実地指導	
	19日	相談員スキルアップ研修	相談支援専門員・サービス管理責任者
	15日	職員研修	
		いずみ改築完了	
	24日	みなも上棟式	
1月	2日	就労継続支援B型事業所 開所	
	9日	法人連絡協議会	
	17日	相談支援事業所まいん実地指導	
	19日	人権教育研究大会	理事
	22日	職員研修: 感染症・衛生管理について	講師: 看護職員
		みなも建築工事開始	

2 月	9 日	地域援助事業者等研修交流会	相談支援専門員	
	10 日	自殺未遂者支援関係者研修会		
	15 日	地域生活移行検討会		相談支援専門員
	21 日	オープンハウス (いずみ)		
	21 日	職員研修 (生活保護について 講師 谷本氏)		
	22 日	人権教育推進委員会		
3 月	13 日	法人連絡協議会	講師：管理者  管理者 2 名	
	20 日	共同生活援助事業所みなも完成		
	26 日	職員研修 (発達障がいについて)		
	23 日	みなも内覧会 (23日、24日)		
	24 日	NPO法人どんまい家族会		
	26 日	集団説明会		
	27 日	相談支援事業所・ピアサポートスキルアップ研修		

#### ■ 法人内定期開催

- ※ 精神保健福祉支援連絡会議 (2カ月毎 奇数月)
- ※ 運営委員会 (毎月1回 /理事長・理事・管理者)
- ※ 事業所会議 (毎月1回 /管理者)
- ※ スタッフ会議 (毎月1回 /職員全員)
- ※ 合同カンファレンス (毎月1回)
- ※ 虐待防止委員会 (2カ月毎)
- ※ パソコン教室 (月1回)

#### ■ 定例出席会議

- ※ 地域移行検討会 (相談支援専門員・担当職員1名)
- ※ ピアマネージャー会 (ピアマネージャー2名)

#### ■ ピアサポート事業 (別紙)

#### ■ その他

- ※ 法人としては松山市の地域移行検討会への参加、ピアサポートマネージャーとしての協力、ピアサポーターの育成、法人連絡協議会への参加、各大学、専修学校から実習性の受け入れ など、地域の精神保健福祉関係事業に積極的に参加協力しました。
- ※ 共同生活援助事業所いずみの改築工事を行いました。1階の居室2部屋をバス・トイレ・キッチンを完備して自立の疑似体験が出来るようにしました。また、サロンや会議が出来るスペースも確保しました。
- ※ 競輪・競艇のRINRINプロジェクト助成金を利用して共同生活援助事業所みなも (定員10名) を開設しています。バリアフリー化をして高齢化した利用者でも安心、安全に暮らせる環境を整えています。また、いずみと同じく自立の練習が出来る居室も作り、介護・自立の両方の機能を兼ね備えた施設となっています。

## 平成29年度ピアサポート活動について

### 《法人ピア事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
見学対応		2		1								1	4
同行支援		1										2	3
体験発表				1		4			1				6
茶話会									5				5
その他								1			11		12
研修							16					6	22
法人ピア交流会			7						7				14
計	0	3	7	2	0	4	16	1	13	0	11	9	66

2ヶ月に1回の頻度で担当者会議を実施し、市の活動報告と今後の法人としての方向性について話し合いを行った。その中で、職員に周知もされていないのではないかと声が上がったため、職員向けのアンケートを実施した。現在の職員内での『ピア』に対する認識の具合を知ることが出来た。

その他に、ピアサポーター交流会を年に2回開催し、法人ピアを事業化したことについて今後の方向性やサポーターのしたいこと(研修等)などを聞くことを行った。

職員研修での体験発表や家族会の方の見学対応、事業所へ見学にこられた方の対応など、地域移行・地域定着支援事業以外の活動をおこなった。

ピア相談員養成研修(自殺予防対策)が年2回あり、半数以上のサポーターが自主的に参加した。そのことを各自で振り返ること、法人内交流会で振り返ることで整理され、その後の活動に活かした。また、サポーター自身が前向きにとらえることができ、自信を持つ事が出来た。

【今後の課題】

「ピアサポート」について職員・当事者共にまだ周知されていない現状。法人内で職員と当事者の有志によって月1回程度の集まりの場を設け、その中で啓発や知識向上に向けた取り組みを検討する。  
それらによって、どんまいに関わる皆さんが地域で生活を送る上での不安の解消につなげ、安心して前向きな気持ちで生きていけるように応援する仕組みを作る。

### 《松山市地域移行・地域定着支援事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①体験発表、茶話会	1		4		3		2	2	3	1	3	2	21
②話し相手(病院)			2										2
③話し相手(訪問)		1	1					1					3
④同行支援	1	1			1					1	1		5
⑤見学対応													0
⑥ピア相談											1		1
⑦その他				4		5	4			3	4		20
計	2	2	7	4	4	5	6	3	3	5	9	2	52

登録サポーター 9名

オープンハウスを年に3回実施した。グループホームの見学会という認識が強いため、2月開催時には5病院に直接案内文を配布しに行き、退院に対する不安の軽減や病院外に出る一つのきっかけになることを目的とすることを伝えた。このことを通じて、ピアサポーター自身もオープンハウスの意味合いについて考え方が変わったようである。

ピアサポーター意見交換会(スキルアップ研修)が年に3回開催され、ピアサポーターや職員が今後の活動に活かせるよう他法人のサポーターとの交流も含めた活動を行った。また、3月に実施した3回目の会では一年の振り返りを行い、グループワークの時間を40分近くとってサポーター同士で話を深めた。それによって、他者の成長したところに気づき、そこから自身の変化したところにも気づけた。

保健所に月に1回開催されている地域移行者交流事業であるサロンへピアサポーターや職員が参加し、サポーター同士の交流を図ることができた。

2月に1回開催されるピアマネージャー等連絡会に参加し、現状の課題や今後の活動について検討した。

【今後の課題】

平成30年度のサポーター登録 9名

昨年度は体験発表・茶話会が中心となったため、活動内容や頻度の偏りが多くあった。ピアサポーターの持ち味を各担当者とピアマネが把握し、それを伸ばせるような割り振り、サポーター自身が研修への参加などを通してスキル向上を行えるような環境づくりと、偏りを解消するためには新規サポーターの開拓をしていく必要がある。

平成30年度事業計画書（案）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

NPO法人どんまい

事業実施の方針

法人は、障害者共同生活援助事業所、障害者就労継続支援B型事業所、一般・特定相談支援事業所の運営を事業の柱として、精神障害者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障害者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活援助事業所どんまいハウスにおいては、社会的入院を余儀なくされている方たちの退院後の生活のサポートが出来る“どんまいハウス”（いずみ、こもれび、わかば、ひなた、みなも）5施設の運営をして社会的入院の人の退院促進を進め、入居者の単身生活に向けた自立のサポートをしていきます。入居者の方の主体的な生活を目指し、日常生活の自立支援、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を作ります。
- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、利用者に対して就労の機会を提供するとともに、利用者の個別の状況に応じた訓練を継続して、利用者が自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう支援を行っていきます。平成30年度は、施設外就労として9物件のマンション清掃と、デイサービスセンターの清掃作業、レディ薬局様の品出し作業を継続しながら、就労に必要な知識や意欲の向上をはかり、移行に向けた支援を行います。委託作業の充実を図るとともに、自主製品の開発・販売を通じて工賃向上に向けて計画的に事業を開拓、展開していきます。研修等を通じて職員の知識・能力の向上をはかりながら利用者一人一人のニーズや目標に応じた個別的・具体的で満足度の高い支援を行います。利用者の人権と生活を守り、主権者として生きていくために必要な知識や能力の向上をはかるため、利用者研修にも力を入れていきます。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブでは、日中活動や生産活動、その他の活動機会を提供し、個別支援計画をもとに、その知識及び能力の向上のために必要な支援や適切な指導、訓練を行っていきます。利用者一人ひとりの特性を生かし、その能力が発揮できるよう支援していきます。そのために、職員一人一人の知識や技術が向上するよう、研修などを通じて自己研鑽に努めます。弁当配食事業では、製造工程の効率化を図ることによって生産性を向上させ、工賃向上を目指します。また、関係機関との連携を図りながら、就労希望者のニーズや目標に応じた就労支援を積極的に行っていきます。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、日中活動や生産活動、その他の活動機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な支援をすると共に適切な指導、訓練を行っていきます。一人ひとりの特性や得意なことを活かし協力しながら技術向上や効率化を図ることで就労や生活の支援をおこない、共同受注の活動にも積極的に参加し販路拡大や利益向上により平均工賃が増えるよう事業展開していきます。また、他機関と連携を図り、職場見学や施設外支援など個人の就労支援も積極的に行い就労希望者のニーズに対応できる事業所を目指します。
- ⑤ 指定一般・特定相談支援事業所まいんの今年度目標として、①フォーマルだけでなくインフォーマルにも視点を置き地域課題に結びつける②相談支援専門員のスキルアップ③丁寧かつ必要に応じたサービスの提供を掲げます。また地域移行支援事業・地域定着支援事業において、地域生活の維持が困難になっている方が出来る限り地域で自分らしい安心した生活を送れるように、必要なサービスの調整や支援を行います。また、計画相談では個別ニーズに対応できるよう、適切な相談、助言、援助等に努め、本人の希望する生活を実現できるよう、サービス等利用計画書の作成および評価を行います。

- ⑥ シェアハウスこだちは、これから地域に出て社会生活を始めようと思っているが不安が残るとい方、また、家庭環境、住居等の事情により住居の確保が困難な方に対し、一定期間住居を提供し、自立に向けての日常生活の最低限の援助を行うための場です。地域の社会資源として活用していただき安心して生活できる方が一人でも増えるようにしていきます。
- ⑦ 法人として地域の活動に貢献すべく、地域行事への参加や啓発活動、また、行政の事業である地域移行定着支援事業、チャレンジ事業やピアサポート事業等に積極的に協力参加し、役割を果たせるべく進めていきます。
- ⑧ ピアサポートについて法人全体として更なる知識・理解の向上に繋げられるよう研修や交流会等をおこないます。また、活動の啓発により興味や関心を持つ方や経験を重ねる方を増やし、不安の解消や自信に繋がるように努めることで地域での生活を不安なく送れる方が増えるよう応援します。
- サロン・de・いずみは以前からどんまいハウスで運営していた料理教室をベースにサロンとして開放し、地域移行・定着の方も参加可能としました。入院中で外出する機会のない方々にも、自由な時間を過ごしていただき様々なことを体験することで地域での生活の楽しさを知ると同時に、退院後の生活もイメージでき、同じ仲間がいることで退院に安心感が持てるようにしていきます。地域定着の方においても、平日は日中活動の参加にて寂しさも紛らわすことが出来るが、休日何もすることがないと寂しさが広がり、落ち着きをなくしたり、不安が膨らんだりすることがあるので、そういった方に居場所として安心できる時間と空間を提供します。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業 どんまいハウス	通年	松山市内	24名	松山市内の精神障害者30名
	就労継続支援B型事業 どんまいクラブ	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約35名
	就労継続支援B型事業 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	7名	松山市内の精神障害者約35名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害者約35名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	通年	松山市内	3名	松山市内の精神障害者約80名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	シェアハウスこだち	通年	松山市内	45名	全職員及び実習生
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、 他事業所との交流会、勉強 会など	通年	松山市内	45名	全職員及び実習生
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人ピアサポート サロン・de・いずみ	通年	松山市内	45名	全職員及び実習生